

<別紙1>

第三者評価結果報告書

① 第三者評価機関名

株式会社ミライ・シア

② 施設・事業所情報

名称：にじいろ保育園駒岡	種別：認可保育所
代表者氏名：梅原 愛	定員（利用人数）： 63名
所在地：神奈川県横浜市鶴見区駒岡5丁目13-29	
TEL：045-834-5197	ホームページ：like-kd.co.jp
【施設・事業所の概要】	
開設年月日 2021年4月1日	
経営法人・設置主体（法人名等）：ライクキッズ株式会社	
職員数	常勤職員：10名 非常勤職員：9名
専門職員	保育士：15名
	栄養士：1名
	調理師：3名
施設・設備の概要	保育室：5室

③理念・基本方針

1) 保育理念「のびやかな育て だいちの芽」子どもには一人ひとり人権があり生きていく能力が備わっている。その子ども達の成長を保育士は援助し無限の可能性を引き出していくこと。

2) 保育方針「みとめ愛みつめ愛ひびき愛」乳幼児期に育つ人格形成の育ちを大切に保育を行う。無条件の愛を子ども一人ひとりに注ぎ「信頼」を築きあげることで絶対的安心感と子どもの自己肯定感を育てたい。

3) 保育目標「子ども像」①自然を愛し心身共に健やかな子ども 日本の四季折々を目で見て触れあそびの中に取り入れ5感を十分に使うことで心身の安定を図ること。

4) ②自分で考え行動し意欲と根気のある子ども③「仲間」と関わり、人を思いやれるこども 子ども達が主体性を持ってあそべる環境を作ること。子どもはあそびから全てのことを学び得るを基本とし、あそびを自分で選択でき、やってみたいの気持ちを引き出す、あそびの仕掛け作りを保育士が行っている。

5) ④自己表現できる子 保育者との安定した関わりの中から思い切り自己表出することができるようにしていくこと。喜怒哀楽を表現しながらありのままの自分を出し、そして自分の好きなことを沢山見つけていけるように保育者の子ども中心の接し方を大切にすること。

④ 施設・事業所の特徴的な取組

にじいろ保育園駒岡ならではの自然豊かな環境を最大限に生かし子ども達の「実体験」から育まれる心身の育ちに着眼した保育を大切にしています。その中で子ども達の「生きる力」が育まれるよう積極的に栽培活動や食育活動に力を入れています。その中で子ども達の生きる視点が広がるように日本の文化を大切に重んじることとグローバルな視点をもった「文化」を知る経験にじいろワールドツアー（リモートを通じて他国の子ども達と繋がる）にも参加しています。

日常の生活の中では、安全な環境下のもと子どもの発達、興味、状態、テーマに合わせた「コーナー保育」を大切にしています。子どもが選択できる環境こそが子どもの

主体的な保育と考え、子どもの興味、好きなことの引き出しが開くような環境設定を保育士が丁寧に作り、子ども達が主体性を持ってあそび生活できる環境、そして、コーナーあそびが単発的なならないように「継続」したあそびの展開ができるように環境を整えています。各クラス、子ども達の好きなことや興味を持ったことが保育の中で1年間を通して探究できるよう保育士が多く仕掛け作りを行いながら形を変えて次も楽しめるように年間の保育の明確化を図っています。

にじいろ保育園駒岡で重点を置いている事項としては「安全管理」「人権」です。登園してきた状態で降園時保護者に引き渡す事を念頭に、子どもの命を守る意識を持ち保育を行っています。具体的な取り組みとしては、ひやりはっとの活用、緊急対応訓練の中でシミュレーション訓練の実施、会議を通して子どもの細かな情報共有にも努めています。身体的安全面の確保に努めることと、心理的安全「人権」への配慮、取り組みを大切にしています。保育園で働く全職員は「人権」に関わる研修を全員受講し、人権チェックリストも定期的実施をしています。リーダー保育士になると自ら人権チェックリストを作成して他職員に園内研修という形で人権を皆で考える時間を作っています。又、職員同士の人権を大切にしています。にじいろ保育園駒岡特有の温かい雰囲気の中そこで働く職員一人ひとりが「自分が大切にされている」と感じながら仕事の中で自己実現できるシステムを構築しています。職員が前向きな気持ちと安定さを持ち保育を行うことが、子ども達に愛情、優しさとしてつなぐと考えています。保育士の思いと子どもの思いが相互に繋がりが子どもと育ち合うことが出来る保育園作りを目指しています。そして、今後もこの温かさの中保護者とも子どもの成長を共有する中で支援を丁寧に行い「開かれた保育園」として地域交流も積極的に行っています。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和5年5月2日（契約日） ～ 令和6年2月6日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	1回（年度）

⑥総評

◇特長や今後期待される点

1, 海外交流プログラムを通じて日本への興味関心を深めています
 法人では、海外の保育園・幼稚園とオンラインで交流するプログラム「にじいろワールドフレンズ」を実施しています。園では、5歳児クラスの子どもたちが昨年度はオーストラリア、今年度はタンザニアと交流を図りました。外国の子どもたちとはオンラインで出会うことができ、通訳を通して挨拶、質問コーナーやクイズ遊びを行いました。その結果、子どもは外国の文化だけでなく、日本の文化にも興味関心をもつことができました。そのため、日本全国について学ぶ機会を昨年度から継続して取り入れています。階段の壁には大きな日本地図を貼り付け県名を記入しています。食育では各地方の郷土料理を提供し特徴を説明することで、子供たちの興味関心を深める取り組みを行っています。

2, 子どもは積極的に自然に触れる戸外活動により豊かな経験を重ねています
 園周辺では自然が豊かで散歩の際には季節の移り変わりを感じることができます。例えば、2歳児クラスでは散歩で拾った木の葉で「色水遊び」をしています。また、近隣の農家では畑見学を行っています。子どもは、農家の人の話を聞いたり「ジャガイモは土の中にできる」「ナスは木に生る」等を実際に観察することができます。5歳児クラスでは5月から「米の栽培」に取り組んでいます。お米が育つ過程を日々観察し、自然の大切さや農家の人の大変さを実感しています。2歳児クラスでは掘り出し易さを考慮し、プランターにサツマイモの苗を植え付けて「おいもほり」体験を

行っています。園目標の「自然を愛し、心身ともに健やかな子ども」を育てることを念頭に置き、子どもが日々豊かな経験を重ねることができるよう努めています。

3. 地域活動を含めた交流を行っていくことを期待します

当園は、横浜市の郊外にあり、自然に囲まれた素敵な環境の中に位置しています。しかし、コロナ禍により、屋外での活動が制限され、自然とのふれあいが少なくなってしまっています。最近では、子どもたちが外で遊ぶ機会を気にする声は保護者アンケートにも散見されました。園としても課題認識しており、地域の方々や保護者の皆様ともっと協力し合う必要があると感じています。安全で楽しく、教育的な屋外活動を企画し、子どもたちに自然の中での体験をもっとたくさん提供したいと思っています。職員や自治会、地域の方との対話を通じて、この取り組みの大切さを伝え、素晴らしい自然環境を生かし、子どもたちにとって心に残る体験を作り出していく園になっていくことを期待します。

4. 会議体や役割の整備をおこない、必要な情報の流れがより良くなることを期待します。

当園は、リーダー層に若手の先生を抜擢しています。園全体でサポートしながら日々の保育や課題に対応しています。個人それぞれ気配りや頑張りが活かされるためにも、今回の第三者評価受審を機にポジションにおける役割を再確認することを期待します。また園の持つ雰囲気の良いさを活かし、全体で進めていく際の公式のコミュニケーションである会議体による情報の流れも、今回の受審を機に確認することを期待します。これにより、職員が情報を共有し、意見を出し合うことで、チームワークを深め、結果としてより良い保育サービスの質の向上につながることを期待します。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

今後も「子どもの主体性」、にじいろ保育園駒岡を取り巻く全ての方の主体性を大切に園運営に努めます。その為には保育内容に柔軟性を持たせ子どもの気持ちに寄り添い、意思を尊重した保育計画を立て実現に向け職員の気持ちを一つにしていきたいと思えます。決して大人が中心とならないこと、にじいろ保育園駒岡の主役は子どもであることを大切に、子ども達が今後も自分で選び自分で意欲を持って取り組むことが出来る環境とあそびの仕掛けを多く作っていきたくと思えます。

日本に住んでいることに誇りを持ちその中で自分を好きになり自信を持って成長することができるよう日本をテーマとした保育は今後も継続して行っていきます。そして自分の住んでいる国、住んでいる場所、伝承的な事象を知る中で子ども達がよりグローバルな視点を持った大人へと羽ばたくことが出来るよう幼少期の「体験」を大切にしていきます。又、その中で「個」を見つめ色々な色があるからこそ共生社会が生まれることを心で感じることが出来るよう保育士は「認め愛」を持って子どもと関わっていきたくと思えます。

2023年～新型コロナウイルス感染症が5類に移行して、保育内容の出来る範囲へ可能性も広がりました。人と人との関わりも含め、地域に開かれた園として積極的の戶外活動を増やし、地域の方との交流体験を計画していきたくと思えます。にじいろ保育園駒岡が地域に必要とされ認識していただけるように努めます。

そして、この恵まれた自然環境を今後も最大限に生かし、絵本や写真・映像の中だけではなく「実体験」を通して子ども達の知的好奇心の芽を伸ばし、一人ひとり子ども達の心に残る経験という名の宝を増やすことが出来る保育を提供できるように努めます。

にじいろ保育園駒岡の持つ雰囲気の良いさ、温かさを何年もこの先継承していけるようそれぞれの職員の役割ポジションの再確認とともに「言葉にすることの必要性」を全

員が理解し言葉を交わすことで当たり前であることや、理解しているだろうという思い込み先入観をなくしていきたいと思います。新しい風を吹き込み、新しく仲間となる職員が馴染みやすい風潮、組織作りを行い全職員の「心理的安全性」を確保しながら園を運営していきたいと思います。

その健全な心理的安全性が子どもの人権を守ることに繋がること、保育の質の向上に繋がることを意識して今後も、にじいろ保育園駒岡で過ごす子ども、保護者、職員そして地域の方々にとって温もりと愛のある保育園作りを目指していきたいと思います。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり